

ふくいオープンイノベーション推進機構が支援する技術開発2件が 経済産業省の支援事業に採択

このたび、ふくいオープンイノベーション推進機構（福井県工業技術センターと（公財）ふくい産業支援センターの共同運営）が支援する研究開発計画2件が、経済産業省の平成30年度「戦略的基盤技術高度化支援事業」に採択されました。

採択を受けた経済産業省の平成30年度「戦略的基盤技術高度化支援事業」は、「中小企業のものづくり基盤技術の高度化に関する法律」に基づく支援の一つとして中小企業者が産学官等の連携で行う研究開発や試作品開発を支援する公募型競争的資金制度です。

1. 採択プロジェクト

1	研究開発計画名	参画機関
	PEEK含浸炭素繊維プリプレグシートのハイブリッド精密成形技術によるX線透過型開胸器の開発・事業化	(株)八木熊、(株)シャルマン、県工業技術センター
	開発概要	
<p>医療分野では低侵襲手術であるX線等を使用するハイブリットカテーテル手術が増加しており、X線透過する器材のニーズが高まっている。世界初のPEEK含浸炭素繊維プリプレグシート+PEEK樹脂でのハイブリット精密成形加工技術で、従来の金属製品同等の高剛性で且つX線透過可能な信頼性・安全性の高い開胸器の開発を行う。また、今回の取り組みは医療機器だけでなく今後航空機産業、ロボット等幅広い利用が期待できる。</p>		
2	研究開発計画名	参画機関
	熱電素子を組み込んだ高効率SiCパワーモジュールの開発	清川メッキ工業(株)
	開発概要	
<p>電力変換を行うパワーデバイス分野では、さらなる高効率化が求められている。本計画では、高い電力変換効率を有する次世代パワーモジュールの製造技術の開発を行う。パワーデバイスに対して、高耐熱性と高放熱性を持つめっき皮膜を開発する。また、熱エネルギーを回収する熱電素子を実装する。さらに、小型で高い冷却性を持った水冷モジュールを作製する。これらをモジュール化し、耐熱性および電力回収効率の実証を行う。</p>		

2. 経済産業省「戦略的基盤技術高度化支援事業」の概要

「中小企業のものづくり基盤技術の高度化に関する法律」第4条の認定を受けた特定研究開発等計画、又は、地域経済牽引事業の促進による地域の成長発展の基盤強化に関する法律の承認を受けた地域経済牽引事業計画を基本とした研究開発等の事業が応募の対象となる、経済産業省が公募する補助事業です。

補助事業期間	2年度または3年度
補助率	大学・公設試等の補助対象経費：定額 上記以外の補助対象経費：2／3以内
補助金額（初年度）	4,500万円以下
補助金額（2年度目）	初年度の補助金交付決定額の2／3以内
補助金額（3年度目）	初年度の補助金交付決定額の半額以内

3. 参考情報

平成30年度「戦略的基盤技術高度化支援事業」の採択結果については、下記の経済産業省中小企業庁Webサイトで公表されております。

<http://www.chusho.meti.go.jp/keiei/sapoin/2018/180629sapoinSenryaku2.pdf>